

TOY BOX

2005.2
vol.7

Hello!Project Fan Magazine

ハロプロ研究①

『自分のキャラ』って何?

大の大人だけじゃない!!

中学生から見たハロプロ

ハロプロ研究②

2005年のハロプロ

今年もオレンジ旋風を巻き起こす

常に進化し続けるGatas Brilhantes H.P.

連載マンガ vol.7

コミックハロプロ

おかえり、なっち!

『自分のキャラ』って何?

文 flight

モーニング娘。はみなさんご存じの通り、10人を越える大所帯のグループです。その中で自分の個性を出し、目立たないと名前を覚えてもらえない。自分のキャラ…、娘。たちがよく使う言葉です。

テレビ東京系『ハロー！モーニング。』では娘。たちが演じる強烈なキャラが多数登場する。亀井絵里ちゃんは“エリザベスキャメイ”としての活躍が認められた為か、現在番組内にて冠コーナーを持っている

キャラとはなんなのでしょう。「山」と言えば「川」、「ツー」と言えば「カ一」、「キャラ」といえば「メル」。はい！そんなあなたはハロプロファン。ふしぎ少女探偵キャラ＆メルのことではなく、キャラとはキャラクターの略のこと。訳すと「人格・個性」、「小説、漫画、劇などの登場人物」のこと。前者の意味でキャラという言葉を使う場合と、後者で使う場合の二通りがある。五期、六期のメンバーは加入当初、口癖のように「早く自分のキャラを見つけるものなのでしょうか？キャラって作り出すものなのでしょうか？自分の個性を出して…」などというニュアンスなんでしょうが、どうもそのように聞こえない。後者のようなニュアンスを感じる。

ところで話を変えて、商売の話をします。商売の基本として、扱う商品の特徴を見つけ、その特徴を前面に押し出し売り出していくのは至極当然な話。特徴が薄い商品や、他の商品と特徴がかぶるのであれば、新しく特徴を作つても売り出していくのは常套手段であり、その上で商品の良さ、お買い得感、特徴をいかに消費者に伝えるかが芸能界云々ではなく商売の基本です。家電量販店のテレビコーナー行つて感じるものは、いっぱいテレビが並んでいるけど大きさが違う以外に何が違うの？という疑問。数多くの商品が並ぶ中、消費者に商品の特徴を伝えるのがいかに難しいか。

娘。メンバーにそれぞれキャラを与え、一人一人にスポットライトをあて、娘。をメジャーに押し上げたのはうたばんの石橋貴明さんとめちゃイケの岡村隆史さんの功績が大きい。石橋さんはごく普通の一般人の面白さを発掘するのに長けていて、石橋さんのトークなどに登場してくる人も、僕らがまったく知らない石橋さんの知り合



いも多く、素人を扱わせれば業界トップ。
(例・野猿、ねるどんなど)

余談だが明石家さんまさんは石橋さんと異なり、素人を扱い自分の笑いを持つていいのがうまく、石橋さんのような素人の面白さを引き出すというのとは一線を画す。

また岡村さんも、石橋さんは別のやり方であるが、他人の面白さを引き出すのに長けている(例・テツ&トモ、ダンディ坂

野、杉田かおるなど)。素人を扱うという点では石橋さんに及ばないが、今まで誰も目をつけなかつた隠れたおもしろさに気付くお笑いの嗅覚は業界トップ。

そんな二人にいじられ、個性を引き出されてきた娘。たち。そのようにして作られてきたのが、田舎者キャラ、あねごキャラ、いじられキャラ、ブリッコキャラ、男っぽいキャラ、訛りキャラ、マイペースキャラ、元気いっぱいキャラ、不思議ちゃんキャラ、メルヘンキャラ、ヤンキーキャラ、セクシー

キャラといったもの。これらが、彼女たちのもつ個性を誇張し作られたものなのであればいいのだが、最近の娘。を見ていると、個性としてのキャラでなく、「役」としてキャラを演じているような気がする。

二つほど例を挙げよう。
まずは高橋愛ちゃん。

彼女が加入時のつんく氏のコメントは、「訛りがいいキャラしている」というものであった。その言葉を信じ、愛ちゃんが「私のキャラは訛っていること。このキャラは大事にしていく」と考え、訛りをなくさないように心がけてしまっているのであれば、少し残念に思う。つんく氏の言つた言葉に縛られてしまつていてるからである。

その辺は石橋さんは扱いがうまく、愛ちゃんの「訛り」でなく「早口」な部分に目をつけた。そこから生まれたあだ名が「テツ

テケテー」。彼女の特徴は「訛り」でなく、「テンパると早口になる」の方が、より自然な感じがしますがいかがでしょうか?まあ実際に愛ちゃんがそのように考えて意識しているかどうかなんてわからないんですけどね。

二人目の例として亀井絵里ちゃん。

彼女は2004年夏に発売された娘。のシングル、「女子かしまし物語」において、次のように唄われている。

「どっちのキャラに進むのかぼちぼち決めようか。」

いくつかのキャラ(役)を与えられ、どうにするの?と迫るのは、違和感を覚える。

ハロモニで好評だったエリザベスキャラは、バラエティ番組内のキャラクターであり、彼女はそのキャラを演じてい

るだけで、彼女の本質はキャラメイではないのであるが、ファンも事務所も、本人も少し混同してしまつていてるようを感じる。

商品を売り出すための手段として、明確なキャラを与え、他のメンバーとの差別化を図るのは正しい戦略であるし、その結果彼女たちがより輝くのであれば、ファンとして嬉しいのであるが、その反面、彼女たちのできるだけ素の部分を見たいと考えてしまう気持ちもあり複雑な想いを抱く。何がいいのかという答えはない。例え作られたキャラであつても、彼女たちの本質から大きくはずれているのであれば、違和感を覚えるのは間違いないだろうし、今まで語ってきたことは僕の考えすぎなのであるうか?(ここまで書いておいて何を今更。(爆))

ただ、僕としては自然体の彼女たちをみたいと思う気持ちが強いのである。



●高橋愛ちゃんの場合

加入当初からの“訛り”キャラはかなり影を潜めたものの健在。しかし石橋貴明氏によって早口キャラを見出され、“テツテケティー”的ニックネームが付いた。



●亀井絵里ちゃんの場合

エリザベスキャラメイというレポーター役を務めることにより、ブッ飛び系のイメージが定着! ?しかし、番組内の役であることをお忘れなく。

中学生から見た ハロプロ

文・アッキー



どうも、平成元年生まれのアッキーです。
今回、高校生になってしまった前に中学生視点でのハロプロを紹介したかったので投稿しました。

ハロープロジェクト。最初は大学生や大人からの支持が高かつたと思うのですが、4期の辻・加護 5期の新垣・紺野 6期なんか中3の田中・道重等おない年のメンバーの出現や、キッズの活躍、あややの一般ウケなどでファンの年代層も広がってきました。僕もその一人に入るわけです。中学生でファン、ヲタをするとどんなことに共感するか。どんなことに困るか。あんまり文章は得意じゃないんですがそんなことを紹介していきたいと思います。

まず、中学生から見るとえりりんから全員が年上のおねいちゃんになってしまいますよ。中澤さんの2分の1。キッズと3歳しか変わらない。キッズを推しても「痛い」ってことがなくなってしまうような環境なんです。（痛い人は痛いけれども）僕はれいな推しながら、おない年の女の子を応援してるって立場になるわけです。妄想するにしても、大人ではできないような妄想になると私は思います。もし同じ学校だったら、もしどなりの席だったら・・・これ以上は続けませんが、そんな感じなんです。（笑）

共感することは大人とほとんど変わらないはずなので、先に困ることから紹介していくたいと思います。困ること、それはやは

り金銭的なことだと思います。中学生だと自分で働けないんですよ。電車賃がなくてハロショに行くのもつらい時期がありました。そうなつてくると、どれだけ他のことを捨ててハロプロに身をささげることができることにかかるんです。僕の場合は東京に住んでるので環境的にはよかつたのですが、ひと月のこづかいが1千円でした。どうあがいてもこの数は変りません。じゃあどうやつてコンサートに行つたりグッズを買つたりするのか?

とにかく、ハロプロ以外には一切お金は使わなくなりました。一切です。ハロプロ1本に徹したんです。今まで持っていたカード、ゲーム、マンガを全て売つて資金にしたり、地道に家事を手伝つておこづかいをもらつたり・・・無論、お年玉や誕生日プレゼント、貯金等もすべてハロプロにつぎ込みます。そんな日々と毎日戦うことになりました。一般の人はファンだということをバラしたくない そんなことは言つてられないんです。もちろん親にも話しておかないとなどにかと不便です。

けど、その結果大好きな推しが見られるなら結果オーライなんです。僕にとつては、苦労してコンサートに行つてれいなを見ることができたときが1番の幸せなんです。どうですか?がんばつて集めたお金でコンサートに行つて好きな人が自分の好きな歌を歌うのを見る。最高じゃないですか!それこそがファンをやつて楽しいことだと思います。

おない年のれいなだつて努力してオーディションに受かつて、現在ステージに立つてゐるんです。だつたら、おなじ中3の僕たちにだつて努力して夢に向かうことができるはずなんです。だつていまの娘。は中学生も高校生も大勢いるのですから。そう思うと、辛いときでも耐えられるんです。れいなもがんばつてるんだから自分もがんばらないわけにはいかない。写真やDVDを見てるとなおさらそんな気分になります。ああ 根っからのヲタだ僕(苦笑)

さて、こんな文章で中学生視点が伝えられたかどうか不安なのですがここまで言つたのだから同じような環境にいる人にアドバイスを残していきたいと思います。グッズが欲しいのに高くて買えない!つて時ありますか?僕でもあります。4700円で47枚の写真セットが発売したのはいいけれども、欲しいのはれいな1枚。さすがに無理ですね?こうゆうときは、ヲタモダチ(ファン仲間)で割り勘して買うのが1番の得策です。4人で割り勘で買えば1175円になるのですから。現実的な数字になつてきましたよね(笑)この方法なら、ツアーチに全国で写真がでてもうまくいけば約500円で全種類入手なんてこともあります。これは節約の工夫のほんの1つにしか過ぎないのですが、いろんな方法で節約生活してみてください。それこそが貧乏を救う最も有効な手段なのですから。

2005年のハロプロ

文／スキップ

さて、先日モーニング娘。の最後のオリジナルメンバーであり、2代目リーダーであつた飯田圭織さんがモーニング娘。を卒業されました。その飯田さんが所属していた機関つまり、モーニング娘。（以下モー娘。又は娘。）の起源から今に至るまで一に、娘。はさまざまな変化を遂げてきました。先ず、デビューしたての頃の苦難から、「LOVEマシーン」でのミリオンヒットを経て「国民的アイドル」の地位にまで登りつめ、そしてその後徐々に感じられてくるようになつたグループとしての勢いの陰り。そんな歴史の中で今となつては「伝統」となつているメンバーの加入・卒業が多く繰り返されてきました。オリジナルメンバーであるのはもちろんのこと、2代目のリーダーであつた飯田さんの卒業に伴なつて、また1つの重要な「節目」を迎えたようになります。

そして今その「節目」の時期に再びオーディションの開催が告げられました。直前に行なわれたものの「該当者なし」という形で終了した7期オーディションに引続き、「エース」を獲りたいという思いをプロデューサーのつんく♂氏は抱いています。さて今回はそのプロデューサーつんく♂が求める新メンバーと、それに伴なつて起こり得るモー娘。に及ぶ波紋を検証していきたいと思います。

それでは先ず、1番皆さんに関心を寄せるであろう「新メンバーの人数」から考えてみます。過去これまでに行なわれた5回

の追加オーディションでは、1人加入が4回、3人が1回、4人が3回となつています。底知れなく安易に考えると「最近は4人加入が多いから今回も4人加わるはずだ」となります。もちろん4人（ないし3人）と多くの人数が加わることによつてモー娘。に与えられるものは、その加えられた人数の分だけ新しい個性がプラスされ、娘。の未来を託せる範囲が広がります。しかしこれまでの見方はあくまで娘。側からの見方です。娘。を見て評価（好きになるか）を下すのは娘。側ではなく、僕達ファンや一般の（別にファンではないという）人達です。

それではこれからは僕達の視点から見てみましょう。相当オーディション番組を見尽くして、合格者が決まる前から「この娘がかわいい」と決めている人は当てはまらないこともあります。どうでしようが、そうでない人は普通新メンバーが決まったとなれば、その新メンバーが決まつたとなれば、その新メンバー全員に目が向くと思ひます。仮に新メンバーに対する興味が100あるとして、新メンバーが1人の場合はその興味100がそのまま1人のメンバーに集まります。ところが4人くらい新メンバーがいる場合には当然その興味100は4分割されてしまします。もちろん人それぞれ好みのタイプがありますから、きれいに4等分とはいかななく6・2・1・1というような分け方になるとおもいますが。それは娘。全体にまで目が行き渡るという好結果を生むこと

もあるでしょう、そしてもちろんたくさん的人数が加入することで、加入した時点でも、モー娘。のメンバーの半数近い人数が加入することで今までのリーダー飯田が東ねていた頃のモー娘。とはまた違つた新しいモー娘。を見せてくれるかもしれません。エースを入れたが、今回の場合に鍵つてはそれは必ずしもいいことではありません。エースを入れたいのに3人も4人もエースをいたのでは見ている僕達が混乱してしまいます。事実エースとするために迎えられたと考えられる藤本さんも他の新メンバーと動じの加入了。ためにそのインパクトが薄れてしまいました。さらに今まで4人を加えていた時は事情が違います。

4・5期の加入時は、安倍さん・後藤さんといった確固たるエースがいましたが、今はそれがいません。では加入するメンバーは1人の方がいいのか?といわれると必ずしもそうとは言い切れません。単独で加入するのは本人にとつても心配でしょうし、何より加入したての頃に悩みを話し合う友達もいません。これは本人にとつてかなり大きなストレスとなるはずです。そしてもう1つ最大の不安要素は、先行者側のニーズとファン側のニーズが異なるという場合です。これはメンバー追加時には誰もが懸念することですが、1人だけの加入だと替えがききません。さてこうして見てくると多い場合にしても少ない場合にしても、ハイリスク・ハイリターンとなることがわかります。

ところで、今回のオーディションの開始がおよそ2月。そうなると新メンバーが決定するのはおそらく6～7月頃になるはずです。その後レッスンを受けて娘。本体へ合流するとなると、合流するのは秋～年末あたりになります。仮に10月に合流するとしても今から9ヶ月くらいあり、その間に1人ないし2人の卒業の報告又は卒業があるはずです。さんざんエースを求めてると言つておいて、即戦力のエースを連れて来たのに後列からのスタートはあり得なく、ましてそういう意味がなく、そうしてしまつたら今回のオーディション自体が意味を失ってしまいます。そのため、新エースが加わり次第すぐに新エース体制に移行するはずです。ならばここで行なわれる人員整理が重要であることは明らかです。

では、ようやつとですが、次に卒業報告があるのは誰かと予想してみます。「ラブマの法則」に従えば次は矢口さんとなりますが、「ラブマの法則」は順番は正しいものの、その間間に他のメンバーが入つてくることがあります。それに3代目のリーダーに就任して早速の仕事が「卒業」では本人もやり切れません。なので矢口さんは除外。今回は「ラブマの法則」は使いません。矢口さんと同様に吉澤さんもサブリーだーなので除外します。それでは次に卒業するのは誰なのか？

前述しましたがエースとなるべくしてそれはズバリ、藤本さんです！

6期メンバーとして娘。に加わったのです

が、初めから使い方を間違つてしまいました。その為今は確かに娘。の中心メンバーになっていますが、絶対的エースかと言わると疑問符が付いてしまいます。これが藤本さん卒業の理由なのですが、これだとただつんく♂にもてあそばれた感がとても強くなり、あまりにかわいそうです。他にも現在メインを担当することの多い高橋さんなんかも卒業がありそうです。藤本さんは卒業当確として、高橋さんが卒業するとなるのは完全に新メンバー中心のモー娘。を作る場合になると想います。その可能性は低いでしょうが、この理由は完全に今までとは違ったモー娘。を作るならば、飯田さんの卒業という節目と同時に新メンバーを加えなければならなかつたからです。なので、更にその他のメンバーで考えると、「ああ」というユニットを組んでいる田中さんあたりに卒業がありそうです。

あまりにとつぴな話ですが、年齢的にも丁度良く、キッズ・エッジの中から2・3人十田中さんで新ユニットが出来る可能も0とは言い切れません。田中さんがグイグイ引っ張つてリーダーとして的確のように思ひます。

上記の3人以外の卒業は厳しいと思いま

す。田中さんでもまだ微妙ですが、それ以外のメンバーとなると一般的にはあまり知られていない（名前は知つていても、顔と名前が一致しない）と思うからです。エッジやキッズとセットで新ユニットを作らるなら、エッジ・キッズも知られてないで

すから全く新しい歌手としてやつていけないこともないのですが。それでも上記3人がこれまでえて挙げるとすれば、「ガキさん」とこと新垣さんです。昨年は前髪を切つてしまっています。これが藤本さん卒業の理由なのですが、これだとただつんく♂にもてあそばれた感がとても強くなり、あまりにかわいそうです。他にも現在メインを担当することの多い高橋さんなんかも卒業がありそうです。藤本さんは卒業当確として、高橋さんが卒業するとなるのは完全に新メンバー中心のモー娘。を作る場合になると想います。その可能性は低いでしょうが、この理由は完全に今までとは違ったモー娘。を作るならば、飯田さんの卒業という節目と同時に新メンバーを加えなければならなかつたからです。なので、更にその他のメンバーで考えると、「ああ」というユニットを組んでいる田中さんあたりに卒業がありそうです。

さて、ここまで長々と駄文を綴つてきましたが、僕の結論を述べたいと思います。
ズバリ2005年のモー娘。は

5月・・・藤本さんの卒業報告。そしてソロへ（希望含）

7月・・・モー娘。新メンバー2名追加
8月・・・田中さん卒業報告。キッズと新ユニット結成

9月・・・新メンバー娘。本体へ合流。

あまりにも実現する可能性がひくそうです。が、つんく♂氏は予想もつかないことをしてくるので対抗と言う事で。ついでに何の根拠もありませんが、新メンバー加入後の1枚目のシングルのセンターは新メンバー十高橋。曲は大人っぽさ漂うダンスな感じになると思います。

さてさて最後に、モー娘。のメンバーの加入が終わつたらつんく♂氏には一層良い曲を書くことに努めてほしいです。新曲を現在注目度の高い新野球チームの応援歌としたところまでは評価できるのですが、肝

心の曲の方がイマイチでした。何とか1回で人をひきつけるような曲を書いてくれることを期待しています。自分の望むエースを連れてきた後は、それを生かして再びモー娘。時代を築くのはあなたの腕次第です。と言いたいです。



常に進化し続けるオレンジユニフォーム Gatas Brilhantes H.P.

text by 海

皆さんも初めまして、海と書いて(かい)です。色々なサイトを渡り歩いているDDです。今回は、そんな色んなサイトを渡り歩いてる中、ガッタスの事を書いていたサイト等を参考にさせて頂きたりスポーツ紙の記事・あるいは試合の映像を見て自分なりにアレンジして書かして頂きました。

皆さんがオレンジ色のユニフォームのサッカーチームと言つたらどのチームを思い出しますか?J1の清水エスパルス?・アルビレックス新潟?J2の大宮アローディージャ?スペインリーグのバレンシア?オランダ代表?その他諸々あると思いますが、フットサルになると答えられる人はあまりいないと思います。

フットサルとサッカーの違い

フットサルのボールは、4号球のローバウンドを使用(サッカーだとU-13以上は5号球)、ピッチのサイズは、 $20\text{m} \times 40\text{m}$ (サッカーだと $68\text{m} \times 105\text{m}$)、ゴールサイズは $2\text{m} \times 3\text{m}$ (サッカーだと $2.44\text{m} \times 7.32\text{m}$)競技者数は5人でプレーをする。交代は自由だけど交代要員は7人まで(サッカーだと11人でプレーをしアウトオブプレーの時に審判の承認を得てからで交代人数は3人)、レフェリーは主審+第2審判(サッカーだと主審+副審2人)フットサルの場合は主審も第2審判も同じ権限を持つています。競技時間は20分ハーフ(サッカーだと45分ハーフ)とまだまだ違いはあります。

皆さんも初めまして、海と書いて(かい)です。まだまだハローープロジェクトとフットサルとの歴史は浅いのですが紹介します。

Gatas Brilhantes H.P. ガッタス

■ 2003年9月9日 "Vamos jogar FUTSAL!!" (フットサルをやらう!) の掛け声と共にハロー!プロジェクトフットサルチーム始動。日本サッカー協会協力をもとに、テクニカルアドバイザーにフットサル日本代表監督のサッポ氏、JFAアンバサダー北澤豪氏を迎え、早朝練習が開始する。

■ 2003年11月16日ハローープロジェクトスポーツフェスティバルin大阪ドーム

この日がハローープロジェクトフットサルチームとしての初試合。対戦相手は日本女子サッカーチーム(Lリーグ)の元4選手を擁する、関西の強豪スペランツアFC高槻戦。この日は正ゴールキーパーの辻が跳び箱で足をひねり、1500m走で過呼吸症候群に見舞われフットサルの試合には出場できず。辻に代わりこの試合のゴールキーパーは紺野である。しかも、スポーツフェスティバルの途中だったでのボールを使っての練習がほとんどできず試合に挑んだ。前半は2失点に抑えたが後半相手の怒濤のシュート攻撃で、5失点。結果は0対7の完敗とフットサル初試合は負けた。

■ 2003年11月22日ハローープロジェクトスポーツフェスティバルin東京ドーム
大阪ドームのかりは東京ドームで返すと意氣込んだ2戦目。対戦相手は関東では強豪クラブチームの十城クラブ戦。

2点先に先制された前半3分に、ガッタスにとって待望の1点が出た。キックオフのボールを受けた吉澤が、そのまま敵陣のゴールまでドリブル突破。左サイドのスベースにボールを流すと、すかさず駆け上がった石川が右足でダイレクトシュート。ボールはゴール右上に突き刺さった。その後逆に怒濤のゴールを決められ前半終了時には1対6。後半の7分にカントリー娘のあさみが右足で倒れこみながらのシュー。キーパーの脇をすり抜けガッタス2点目。その後も熱戦を繰り広げ結果は2対9と連敗したがチームは初ゴールを決めた。

■2004年3月4日ガッタスの新メンバーにモーニング娘。の藤本 美貴とメロン記念日の大谷 雅恵が加入。

■2004年3月28日第4回東京都女子フットサル大会。初の公式戦の第1試合目の相手はガッタスと年齢差は変わらない筑波大付属高校サッカーカラーブ。

キックオフの笛が鳴るや、たった30秒で1点先制される。その後は怒濤のゴールラッシュで前半終了した段階で5失点、後半も相手のリズムを崩す事が出来ずに5失点。終わってみれば10失点という公式戦初デビューウーマンが「このペースでいけだつたが、ガッタスのメンバーはスーパースターのアドバイスに大感激だつた。

■2004年6月ハロー！プロジェクトエッグオーディションで合格した32人のうち2人（サッカー歴8年の是永美記と川島幸）がフットサル研修生としてお台場カップに出場する。

「ゴールに嫌われてしまう。2戦目の相手は、東京都女子フットサル大会でベスト4進出常連の強豪小金井SC戦。最初の1点を取られてしまつたらリズムを崩したかのように次々にゴールをきめられ前半を0対6で終わる。後半は斎藤・柴田（メロン記念日）

が入ることでチームに攻撃意識が生まれたが結果は0対9と惨敗。初戦より良い攻め方があつたそうだが二試合連続で試合をしたという疲れがメンバー内であり誰も前へ走つたりする人がいなく足が止まつていた選手が多かつた。

■2004年7月30日レアルマドリードとフットサルで交流会をする。スーパーパースター軍団レアルマドリードとガッタスがフットサルで交流会をした。ジダン・ラウエル・モリエンテス・ベッカム・ソラリがそれぞれ二チームに分かれてガッタスの臨時コーチになつた。その後オレンジ組とブルー組で練習試合を行つた。5分ハーフといふ短い時間だつたが、ラウエルが「もつとボールをまわして、『ゴールを狙え！』とゲキを飛ばしたり、ベッカムが「このペースでいけば大丈夫。1点さえ取れれば勝てる」と大声援をする。結局0対0の引き分けだつたが、ガッタスのメンバーはスーパースターのアドバイスに大感激だつた。

■2004年6月ハロー！プロジェクトエッグオーディションで合格した32人のうち2人（サッカー歴8年の是永美記と川島幸）がフットサル研修生としてお台場カップに出場する。

表（なでしこジャパン）と激励会に参加し、なでしこジャパンの主将大部由美さんから「勝ちたい気持ちを持ち続けて頑張ることが大事。継続は力なりです。」といアドバイスされる。

■2004年8月14日女子フットサル公式戦予選リーグ。女子フットサルチームの芸能界ナンバー1を決める「お台場カップ」（5分ハーフ）でついに念願の初勝利をもたらすこととなる。1試合目は、フジテレビの女子アナウンサーのチームミリアリー？マドリッド戦（先発は紺野・里田・藤本・是永・吉澤）前半4分52秒、キャプテン吉澤ひどみが蹴つたボールが勢いよくゴールネットに突き刺さしこの試合先制点をあげる。このゴールの前までに吉澤は5本のシューを放つていてがいぜれもリアリー？マドリッドの守護神石本アナに阻まれていた。前半終了時点では1対0。この吉澤のゴールでチームに勢いがつき、後半開始わずか46秒では石本アナが弾いたボールを藤本が押し込んで2点目。さらに4分19秒途中出場の後藤が後方から駆け上がり相手DFをかわしシューを決めて3点目をとり試合終了。ガッタスはこの瞬間、約1年間辛い練習や試合の敗戦から解き放たれた。ガッタスのメンバー・北澤監督・スタッフのみんなと大喜びで初勝利を祝つた。平均年齢差6.6歳の違い差はかなり試合にていた感じがした。また、フジテレビはお台場がホームなのにガッタスのサポーターに埋め尽くされアウェー状態に。2試合目は、俳優

橋田吉彦さんが監督のアンマリアトーレ戦（先発は紺野・里田・藤本・是永・吉澤）開始1分、アンマリアトーレの背番号10番二宮が吉澤・是永を振りきつてキーパー紺野をかわし先制ゴール。その後、里田から吉澤、吉澤から藤本へとパスを出したときには相手のディフェンス陣にボールがあたり自殺点で同点に。その後は永から吉澤にパスを出し、そのまま吉澤が豪快なミドルシュートで逆転した。後半は里田のコーナーキックを吉澤が合わせるもノーゴール。その後は両者譲らず2対1のまま試合が終了しガッタスは2勝目。

是永・吉澤のホットラインが観客を魅了させてくれた。3試合目は、サッカーセンターハーフの斎藤陽子率いるよしもとマラティニーコ戦（先発は紺野・里田・みうな・石川・吉澤）前半3分みうなのオブストラクション（ファール）で吉本のフリークリック。このチャンスを吉澤陽子が豪快にきめ1点先制される。吉本の立原のファールで石川が崩されフリーキックを獲るも、吉澤のシュートは相手ディフェンスによりゴールならず。吉本のシューを吉本の岡部がカットしそのままボールが吉澤に周つてしまいそのまま吉澤が豪快にシューを2点目を取られる。ここで前半が終わる。後半は両者が譲らず0対2のまま試合終了のホイップス。翌日に試合に繋がる1敗と選手全員がこの試合の悪かった所を反省しあつた。

次号へ続く



現在、「TOYBOX」では記事を書いてくれる方を募集しています。参加条件は無し、どなたでも歓迎いたします。

今回も引き続き編集部でテーマを設定いたしました。3月からはW（ダブルユー）のミュージカルが始まります。そしてプロ野球が開幕します。そこで・・・

次号分のテーマは

- ・ミュージカルがスタートする W
- ・プロ野球開幕！頑張れ！楽天イーグルス

です。もちろん従来どおり自分でテーマを設定して下さっても結構です。文字数は1ページあたり約1000文字で、何ページでもOKです。画像の数・サイズによって変動しますのであくまでも目安としてお考え下さい。

文章は「TOYBOX」サイト内 “mai” ページのフォームから投稿してください。また、縦書き・横書きの希望がございましたら併せてフォームへ記入して下さい。編集の都合上やむを得ない場合を除き、出来る限りの対応をいたします。

それでは読者の皆様からの投稿をお待ちしています。

諸事情により発行が1週間伸びてしましましたが第7号も無事に発行することができました。記事を書いてくださった皆様、そしてご覧くださっている皆様、どうもありがとうございます。今回はなっちが復帰したばかりということで“なっち活動再開特集”を組みたいと思っていたのですが、残念ながら実現できませんでした。次回は楽天イーグルスとWに関する記事を募集します。次号の発行は3月下旬を予定しておりますので、皆さんからの投稿をお待ちしております。



執筆者紹介

flight	亀井絵里推し。『えりりんどっこむ』を運営中。今回の表紙デザインも担当
アッキー	田中れいな推し。『GARGOYLE』を運営中
スキップ	推し不明です、ごめんなさい m(_ _)m
海	DD（誰でも大好き）
カゴカゴ	加護亜依推し。『comicKAGO』を運営中。マンガ担当
ハイマン・ロス	辻希美推し。『ののすいーと』を運営中。デザイン担当